地層処分事業と地域振興

経済産業省

■高レベル放射性廃棄物の地層処分

現在、我が国の電力供給構造の約三割を占める原子力発電では、使用した燃料を再処理し、ウランやプルトニウムを取り出し再利用する核燃料サイクルを基本政策としています。この再処理により高レベル放射性廃棄物が発生するため、これについては人間の生活環境に影響を及ぼさない安全な処分が必要です。

平成十二年に処分の枠組として「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」（以下「最終処分法」）が制定されました。同年、最終処分法に基づき、処分事業の実施主体として原子力発電環境整備機構（ＮＵＭＯ）が経済産業大臣の認可を受けて設立されました。高レベル放射性廃棄物の処分方法は、海外と同様に、地下三百メートル以深の安定な岩盤に埋める地層処分を行うこととしています。

最終処分法には、処分地選定については、三段階の調査（文献調査、概要調査、精密調査）を経て行うように定めています。ＮＵＭＯは平成十四年から全国の市町村を対象に文献調査の区域を公募しています。

■地層処分事業と地域振興プラン

これまで、処分事業に関心を示している地域は現れているものの、最初の調査である文献調査を開始するまでに至っていません。長期間にわたる処分事業を着実に進めるためには、処分事業と地域とが長期にわたって相互に良い影響を与えながら、その地域が発展していくことが大変重要です。処分事業には、固定資産税収、生産誘発効果や雇用誘発効果など様々な経済波及効果が見込まれます。また、国の電源三法交付金やＮＵＭＯの地域共生方策等を活用することができます。地域の将来の絵姿は、地域が主体的に検討すべきですが、地域にとっては、これらをどのように地域振興に役立てるかを検討することは、必ずしも容易ではありません。このため、国やＮＵＭＯが、電気事業者の協力を得て、処分事業との共生により地域が発展する姿を提示することができれば重要な参考になり得ます。

こうしたことから、昨年九月、地域振興構想研究会（資源エネルギー庁電力・ガス事業部長の研究会）において、報告書「地層処分事業と地域振興プランについて（http://www.meti.go.jp/report/data/g80908aj.html）」が取りまとめられました。地域振興プランとして、高齢化社会を迎え地域のニーズの高い医療・福祉、地域の身近な産業である農林水産業、エネルギー関連産業、処分事業の特徴である地下を活用した事業等、十六テーマに基づき、フランスや韓国などの海外の例も含め、ハード事業、ソフト事業とともに約百六十の実例を提示しました。また、処分事業が行われる地域だけではなく、周辺市町村や広く都道府県全域に及ぶテーマも視野に入れています。さらに相互に関連・補完するテーマを組み合わせ、広域的な地域振興の展開を図ることも可能です。地域振興の実現を図っていく上では、経済産業省だけではなく、他省庁や関係自治体との連携も重要です。

高レベル放射性廃棄物の処分事業は、電気の恩恵を受けている我々にとって、必ず実行しなければならない重要な事業です。国としては、一刻も早く文献調査に着手できるよう、ＮＵＭＯや電気事業者等と連携しながら、国が前面に立って、引き続き取組みを進めていきます。

《処分事業を通じた地域振興プラン》

Ⅰ．行政サービス・生活基盤関連

①行政サービスの行き届いたまち
②教育・スポーツ・文化のまち
③子供を育て易いまち
④循環型で環境にやさしいまち
⑤交通利便性の高いまち
⑥国際交流で発展するまち

Ⅱ．医療・福祉関連

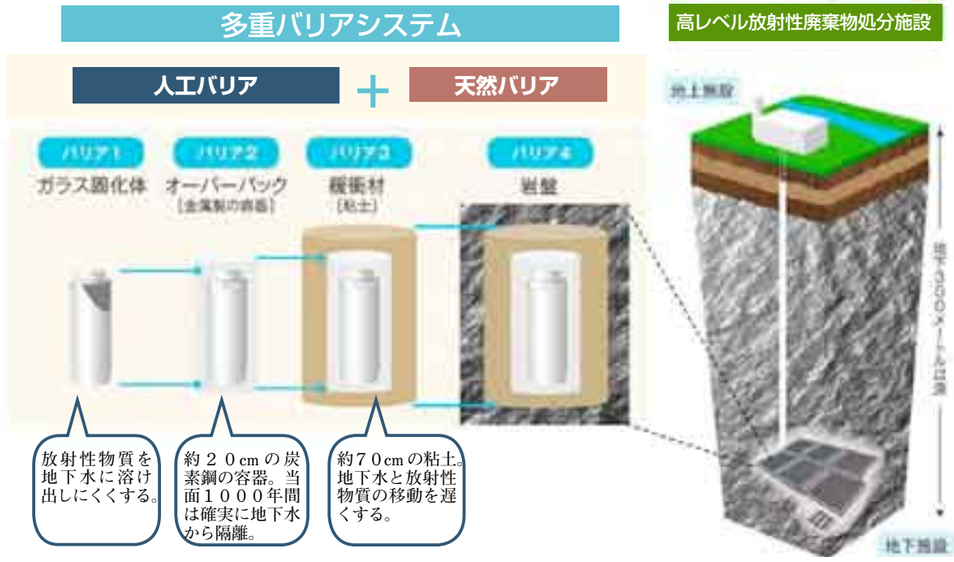
①福祉と健康増進のまち
②最先端の機能を備えた医療機関の整備されたまち

Ⅲ．産業関連

①農林水産業を中心としたまち
②エネルギー産業との共生を目指したまち
③地場産業による地域おこしで活性化するまち
④地下事業で発展するまち
⑤観光で発展するまち
⑥中心市街地の再生によるにぎわいのまち
⑦企業・研究所誘致で活性化するまち
⑧新産業を創出するまち

高レベル放射性廃棄物処分概要（イメージ）

○地下深くの安定した地層（天然バリア）に、複数の人工障壁（人工バリア）を組み合わせることにより、放射性物質を閉じ込め、人間の生活環境への影響を十分小さくする。



より詳しい内容は、「放射性廃棄物のホームページ」でご覧いただけます。
http://www.enecho.meti.go.jp/rw/index.html

地域振興プランの実例～最先端の機能を備えた医療機関の整備されたまち～新潟県上越市

上越地域医療センター病院ＭＲＩ整備事業

ＭＲＩ（磁気共鳴診断装置）やリウマチセンターなど、最先端の機能を備えた高度な医療機関を整備し、地域住民の健康と福祉の向上を図るもの。地域外からの移住を促進するとともに、医療・福祉産業の拠点形成により、新たな就労機会の増加にもつながる。

■事業内容

病気の早期発見、早期治療による市民の健康回復と地域医療サービスの充実・向上を図るとともに、地域の中核病院として診療所や他病院との連携を強化するため、磁気共鳴診断装置（ＭＲＩ）を新たに整備した。

○ＭＲＩ本体整備　Ｎ＝１基
○ＭＲＩ室内部改造工事（シールド工事、医療ガス設備工事等）　Ｎ＝１式
○ＭＲＩ室内部改造工事設計監理委託　Ｎ＝１式

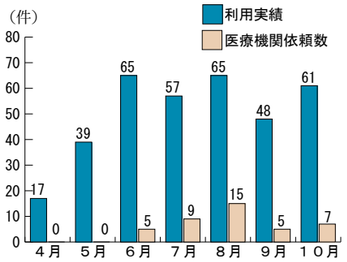
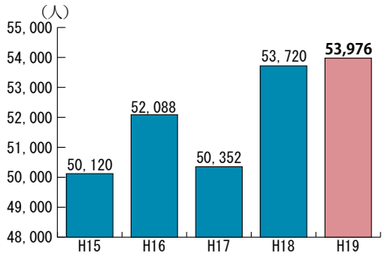
上）上越地域医療センター病院外観
左）ＭＲＩ設置状況

■事業成果

本事業を実施したことにより、ＭＲＩを設置していない他病院及び診療所から患者紹介があり、病診連携・病病連携が促進され、地域住民へ質の高い医療サービスを提供できるようになった。（グラフ１）

また、１９年度の患者数（４月～１０月計）は過去４年間の同時期と比較して増加している。（グラフ２）

グラフ１：19 年度のＭＲＩ利用実績



グラフ２：過去４年間と 19 年度の患者数比較